

ハンドシャワー付 シングルレバー混合水栓

SF-WM437SY型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

1. 施工の前に

安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

- 注意** ... 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- !** ... 「注意しなさい！」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- ⊘** ... 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
- ⊘** ... 「分解してはいけません！」
- !** ... 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

注意

⊘	水道水及び飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。 ※商品の内部腐食により、漏水の原因となります。 ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。	
⊘	給水管と給湯管を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
⊘	給湯器の給湯温度設定は85℃以上で使用しないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財などを濡らす恐れがあります。	
⊘	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
⊘	修理技術者以外の方は水栓を分解したり、修理したりしないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
!	給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	
!	ヤケドの恐れがないところまで水圧変動を押えた配管設備にしてください。 ※他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。	
!	【寒冷地用の場合】 お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
⊘	【寒冷地用の場合】 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	

本製品の仕様と使用条件

給湯器温度設定	85℃以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水(※1)
使用環境温度	【一般地用】	0~40℃	但し、内部の水を凍結させないでください。
	【寒冷地用】	-20~40℃	
給水給湯接続	PJ1/2		
圧力条件	0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時) 給水圧力≧給湯圧力 ※2		

※1：飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。
※2：給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	A+0.06MPa(流動時)：給湯器設定温度75℃	※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
最高圧力	0.75MPa(静止時)	

測定条件は次の通りです。

- レバーハンドルは全開。
- 給水温度5℃、吐出温度42℃。
- 給水圧力はガス給湯器直前における流動時の圧力です。
- ガス給湯器の設定温度は最高温度です。

貯湯式給湯器と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	0.05MPa(流動時)
最高圧力	0.75MPa(静止時)

- 給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度調節が容易になり使いやすくなります。
- 給湯圧力は水栓直前における流動時の圧力です。

その他の条件

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20~0.34MPa)に減圧してください。
- 給湯に蒸気は使用できません。
- 不意の出湯によるヤケド防止のため、**給湯器の設定温度は60℃以下**をおすすめします。

施工前のご注意

取付けに必要な工具類

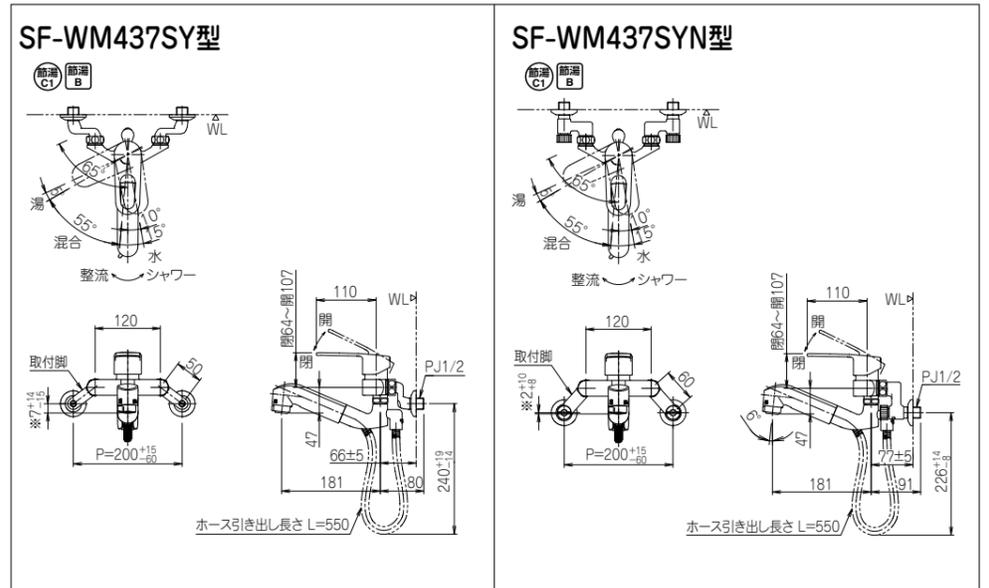
水栓本体の取付けに必要な工具 スパナ(呼び30) モンキーレンチ(呼び250以上)	施工後の調節に必要な工具 マイナスドライバー
--	---------------------------

その他の注意点

- 給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 給水管が右側、給湯管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
- 給湯管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
- 商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分に注意してください。
- 必ず **配管中の異物を完全に洗い流してください。**
- 使い勝手や性能発揮のために **流量を調節をしてください。** 特に水圧が高い場合など、流量が調節されていないと漏水・破損の恐れがあります。
- 古い水栓からの取替えの際は、**取付脚ごと交換してください。**
※取付脚をはずす際は、配管が破損しないよう細心の注意を払って作業してください。

施工完了図

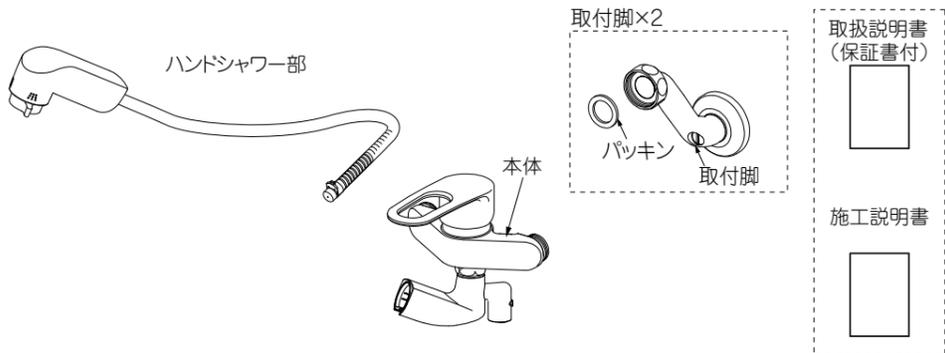
※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。



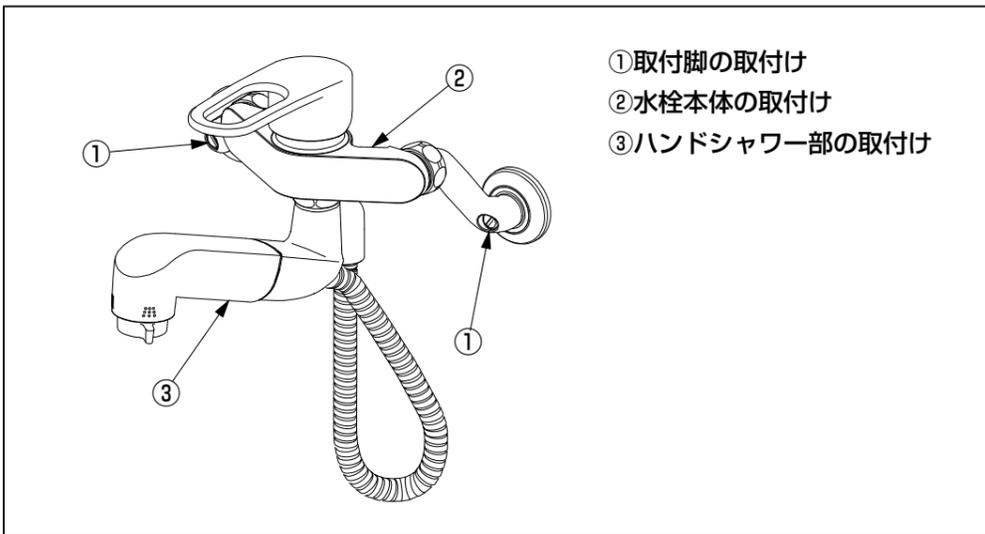
※印寸法は配管ピッチ(P)が最大~最小の場合を(標準寸法最大最小)で示しています。

同梱部材の確認

※品番によっては図と現品の形状や同梱部材が一部異なります。



施工手順

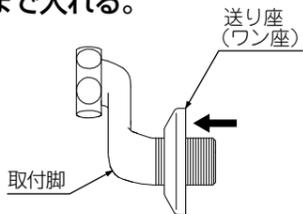


2. 施工方法

以下の手順通り、正しく取付けてください。

1 取付脚の取付け

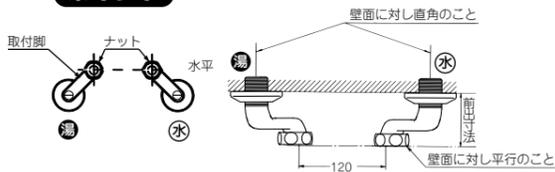
1. 送り座（ワン座）を取付脚のネジ部の奥まで入れる。



2. 取付脚を配管に取り付ける。

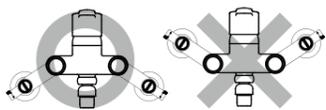
ポイント

湯側、水側の取付脚のナットの位置が水平、壁からの前出し寸法が同一、かつナットのピッチが120mmになるように取り付ける。

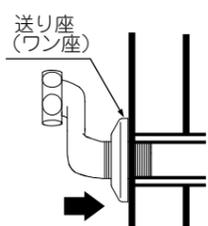


注意

- 取り付けた後、逆方向に回さないでください。
※配管との接続が緩み、漏水の原因になります。
※逆方向に回した場合は、シールテープを巻き直して再度取り付けてください。
- 寒冷地用の場合は、必ず水抜栓が下になるように取り付けてください。
※水抜栓が水栓本体よりも上になると、水抜きができません。

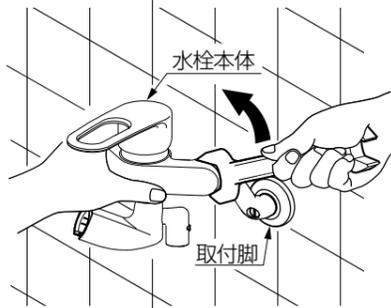


3. 送り座（ワン座）を壁面に合わせる。



2 水栓本体の取付け

1. 取付脚に水栓本体をスパナ（呼び30）で取り付ける。

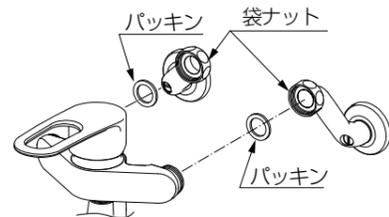


ポイント

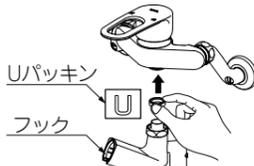
水栓が水平に取り付くように注意しながら、スパナで湯側、水側の袋ナットを交互に締め付け、しっかりと固定する。

注意

取付脚の袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。
※漏水の原因となります。



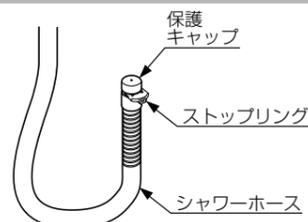
「もしフックが外れてしまったら」
向きに注意して、Uパッキンを水栓本体に挿入してから、フックを差し込んで工具締めをしてください。



3 ハンドシャワー部の取付け

注意

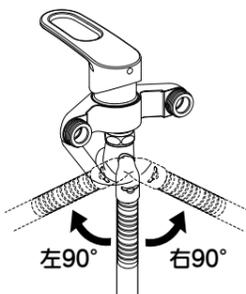
シャワーホースに付いている保護キャップとストッピングは取付けるまで外さないでください。



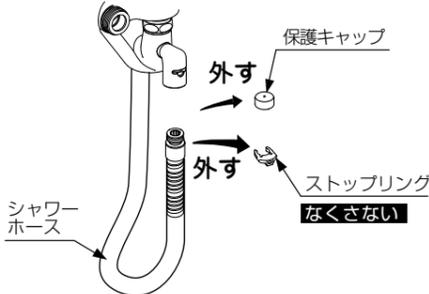
1. シャワーエルボの動きを確認する。

注意

シャワーエルボが左右90°ずつ（半周回転）動くことを確認してください。可動範囲が足りない場合は、エルボが回らなくなるまでねじ込んでから、約半周ゆるむ方向に戻してください。
※シャワーホースの収納性や使い勝手が悪くなります。



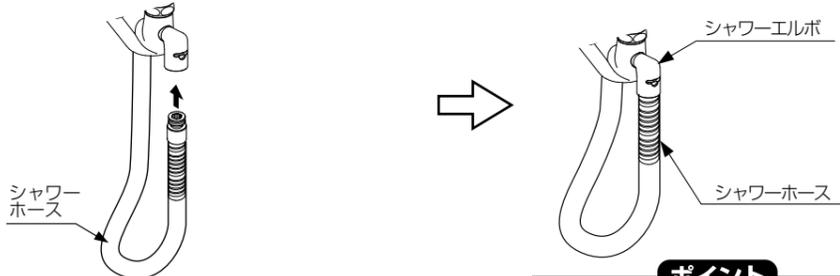
2. シャワーホースに付いている保護キャップとストッピングを外す。



注意

ストッピングを紛失しないように注意してください。
※シャワーホースが固定できず、漏水の原因となります。

3. シャワーホースをシャワーエルボに差し込む。



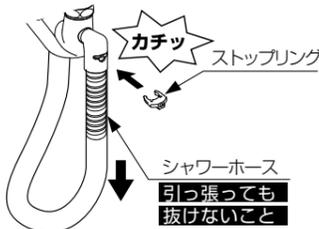
ポイント

シャワーホースは奥までしっかりと差し込む。

ポイント

フックを横に向けると取付けやすくなります。

4. ストッピングをシャワーエルボに差し込む。



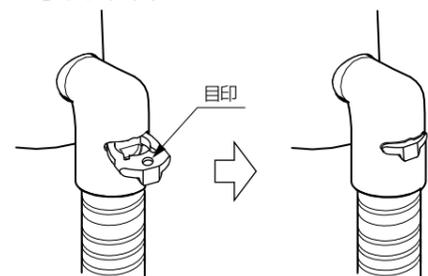
注意

ストッピングは、目印がかくれるまでしっかりとめ込んでください。
※ストッピングが外れると漏水の原因となります。



確認

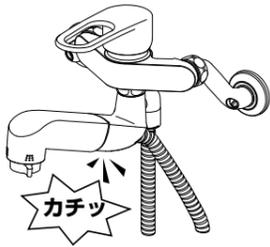
シャワーホースを引っ張っても抜けないことを確認。



5. ハンドシャワー部をフックに納める。

ポイント

- カチッと音がするまで確実に差し込んでください。
- シャワーホースの納まりがきつい場合は、シャワーエルの向き等で調整してください。

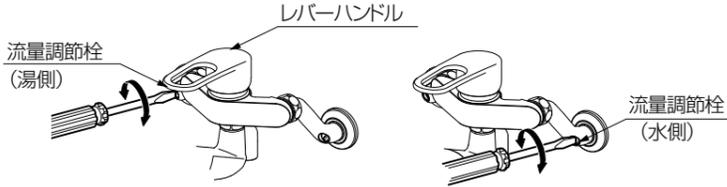


3. 施工後の調節

以下の手順通り、正しく調整してください。

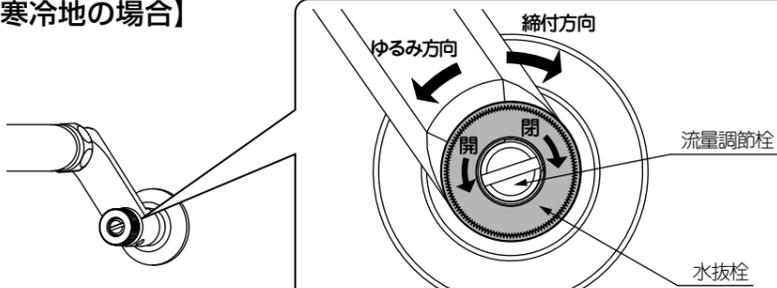
1 通水確認

- レバーハンドルが閉じていることを確認し、湯側、水側の流量調節栓をマイナスドライバーで開く。



注意

【寒冷地の場合】



流量調節栓操作時に水抜栓がゆるんだ場合は、手締めでしっかり締めなおしてください。
※水や湯がふき出して家財を濡らす財産損害の発生や、ヤケドをする恐れがあります。

- 湯側、水側のそれぞれの位置でレバーハンドルを開け、通水を確認する。

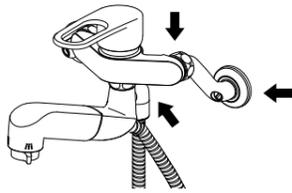


注意

高温に注意してください。
※レバーが湯側になっていると不意に高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



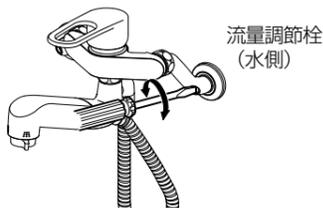
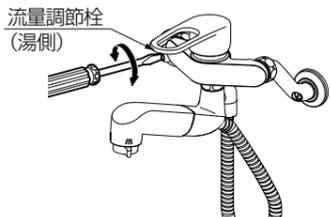
- レバーハンドルを閉じ、接続部から漏水がないことを確認する。



2 流量の調節

- レバーハンドルを湯側いっぱいの位置に合わせて全開にする。
- レバーハンドルを水側いっぱいの位置に合わせて全開にする。

- 湯側の流量調節栓で適量に調節する。
- 湯の吐出量とほぼ同じになるように水側の流量調節栓を調節する。



注意

水側または湯側の流量が約8L/min (1リットルの容器をいっぱいにするのに約8秒) を超える場合は流量調節栓で流量を調節します。

注意

寒冷地仕様の場合 3. 施工後の調節 1-Iの 注意 を参照。

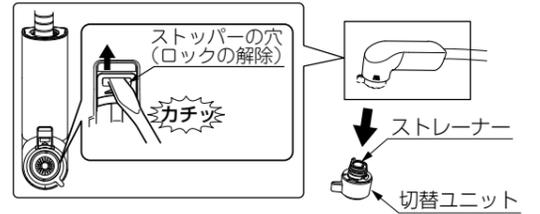
ポイント

切替レバーの表示と異なる箇所から水が出る場合は、水圧が高く過剰流量になっていることが考えられます。

3 ストレーナーの掃除

初期通水後のゴミを取り除くため、切替ユニットのストレーナーの掃除を以下の要領で行ってください。

1. ハンドシャワーの裏側にあるストッパーをスライドさせて、切替ユニットを外す。



2. 切替ユニットを引っ張り、取り外す。

注意

切替ユニットが固くて外しにくい場合がありますが、切替ユニットは回転させず、引き抜いて外してください。
※無理に回転させると、切替ユニットが破損する恐れがあります。



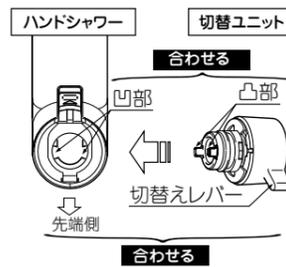
3. 切替ユニットのストレーナーを掃除する。

注意

- 切替ユニットを落とさないよう注意してください。
※破損したり、キズがついたりする恐れがあります。
- 水を出し過ぎないでください。
※水が飛び跳ね、衣類を濡らす恐れがあります。
- ストレーナーが切替ユニットから外れてしまった場合は、向きに注意して取り付けてください。
※向きが正しくないと、ゴミが詰まりやすくなり、流量が少なくなる場合があります。



4. 切替ユニットの向きに注意しながら組み付け、ストッパーをロックする。



注意

切替ユニットが外れないこと。

4. 引渡前の確認

引渡し前および、故障時の点検は以下の要領で行ってください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か?		「本製品の仕様と使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか?		抵抗となる障害物を取り除く。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか?	①	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか?	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか?	②	キズがあれば部品を交換する。
	ゆるみはないか?	③	固定ナットを締める。 締め過ぎるとレバーハンドルが重くなる場合がありますので注意してください。
ハンドルが右側に回らない	ハンドルの操作位置は正しいか?	④	エコハンドル仕様のため、レバー操作範囲が従来のシングルレバーと異なります。(施工完了図参照)
	ハンドルの操作位置は正しいか?	④	エコハンドル仕様のため、レバー操作範囲が従来のシングルレバーと異なります。(施工完了図参照)
希望の温度が得られない	圧力は十分か?		「本製品の仕様と使用条件」の項参照。
	流量調節はよいか?	⑤	「流量の調節」の項参照。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか?	①	ゴミ等を水で洗い流す。
水栓本体がガタつく	ゆるみはないか?	⑥	袋ナットをしっかりと締める。
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか?	⑦	ねじをしっかりと締める。

ポイント

故障ではありません。
水を止めた後に少しの間水が垂れますが、切替ユニット内部に溜まった少量の水が排出されるため、故障ではありません。

